南相馬市立鹿島中学校スローガン　「創造」「秀・和」「不屈」　～挨拶は　心の絆　挨拶で　心を磨く～

何も咲かない寒い日は、



下へ下へと根を伸ばせ。

車輪梅

＜鹿島中学校　学校だより＞

【令和4年12月号】

《令和4年度重点目標》『互いに認め高め合い　夢に向かって挑戦し続ける　品格のある鹿島中生』

地域を知り・考える

本校では、豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の基盤、成長の糧、そして地域の世代間の絆をつくることを目的に、地域の皆様にご協力をいただきながら、様々な体験活動を実践しています。

生徒達は、具体的な体験や人との関わりを拠り所にして、驚いたり、感動したり、考えを深めたりしながら、実社会や自然との関わり、繋がりを学んでいます。たくさんの経験をとおして、自らを高め、新たな価値観やよりよい生き方を創り出していってほしいと思います。

保護者の皆様や地域の皆様には様々な場面でご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。これからも宜しくお願いいたします。

Save The Earth Project（１２月１６日）



SDGｓの考えに基づき、地域社会への奉仕活動など、日常生活での実践活動を通して、平和や福祉に貢献できる友好親善の精神を育成することと地域の環境の美化を目的に、全校生が、３つの活動場所（１年生：鹿島中学校・牛河内周辺、２年生：学校～真野川河川敷～フレスコキクチ、３年生：学校～真野川河川敷～スーパーシシド、学校～鹿島駅）に分かれて、クリーン活動を行いました。

＜環境委員長の振り返り＞

駅周辺で活動しましたが、ゴミはあまり落ちていませんでした。地域の人達が日頃から街をきれいにしていることが分かりました。集約したごみを見ると、ペットボトルなど飲料水の容器が多かったです。また吸い殻も気になりました。容器を分別して資源として再利用すれば環境を守ることができます。また、たばこのポイ捨ては火災の原因になります。よりよい地域にするために、ご協力をお願いします。

キャリア教育講座（１２月２１日）



３年生では、現在、南相馬市で活躍されている、４名の起業家、経営者等の方々を講師としてお招きし、学生時代のエピソード、仕事の内容、今の仕事を始めるきっかけや出会い、南相馬市の魅力、アドバイスなどを話していただきました。生徒たちは、目を輝かせて、話に聞き入っていました。

＜来校された皆様＞

- 地域に新しい事業をつくっている（一社）パイオニズム理事　但野謙介 様
- 小型ロケットを開発している Astro X(株)代表取締役CEO　小田翔武 様
- 地元のお米でお酒をつくっている haccoba代表取締役　佐藤太亮 様
- 食を通じて人の交流をうみだしている（株）場創総合研究所　菊地一弘 様

＜生徒達の振り返り＞

- 「行動することで、やる気が生まれる」ということは新しい発見でした。
- 地域の新たな魅力を知ることができました。
- 視野が広がり、自分の人生の歩み方を見直そうと思いました。自分の人生に役立つことをしっかり実行していきたいと思いました。

郷土芸能文化学習講座（１２月９日）



１年生では、小池獅子舞保存会、民俗芸能を継承するふくしまの会、南相馬市教育委員会文化財課の皆様をお招きして、２回目の「郷土芸能文化学習講座」を実施しました。

県内の獅子舞の中でも、舞の美しさから、最も優れたものの一つである小池獅子舞を目の前で見せていただき、実際に踊ってみました。

＜代表生徒の感想＞

舞を体験して、難しかったですが、長い間、人々が受け継いで来た歴史を感じました。鹿島区の一員として、歴史ある伝統文化を伝えていきたいと思いました。

しめ縄リースづくり（１２月１０日）



美術部では、講師として、南相馬市まちづくりボランティア講師　高田求幸様をお招きして、仲間と力を合わせて縄をない、飾り付けを施し、正月のしめ縄リースを作りました。また材料となる稲わらは、生活の中で有効に活用されきたことや、しめ縄にこめられた先人の知恵や思いについても教えていただきました。

＜参加者の感想＞

初めてしめ縄を作りました。しめ縄を作る手順や今まで知らなかった歴史や文化について教えていただき、とても楽しく参加することができました。

※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。